

## 四天王寺前夕陽ヶ丘駅(地下鉄谷町線)

## 日本最初の大寺・四天王寺を知る



「大阪あそび歩マップ集」  
その1 No.031

## 地下鉄四天王寺前夕陽ヶ丘駅

## ① 眞光院

聖徳太子が父・用明天皇の冥福を祈るために阿弥陀如来を安置したのが起こりといわれています。境内に六地藏や六万體地藏が奉安されていますが、眞光院の界限には「その昔、聖徳太子が六万體の地藏を作った」という伝承があり、「六万體町」という地名も残っています。



## ② 愛染堂(勝鬘院)

寺伝では聖徳太子が開いた施薬院に始まります。施薬院は薬草を栽培して怪我や病気で苦しむ人を救うための施設で、わが国の社会福祉事業の発祥地ともいわれます。本尊は愛染明王ですが「愛に染める」という言葉から、恋愛、良縁、夫婦円満に御利益があるといわれています。

## ③ 大江神社

聖徳太子が四天王寺を創建した際に、その守護として造営したといわれています。四天王寺から見て位置が乾(北西)の方角にあることから江戸期には乾社とも呼ばれました。また毘沙門堂とも呼ばれましたが、毘沙門天は、寅年寅月寅日寅刻に現出することから境内にはめずらしい狛虎が奉納されています。

## ④ 伶人町

「伶人」とは楽師のことで、四天王寺舞楽の楽師たちが集住していたことが町名の由来です。吉田兼好は四天王寺の舞楽を見て「何事も、辺土は賤しく、かたくななれども、天王寺の舞楽のみ都に恥ぢず」(都から離れた辺鄙な場所にいくと見苦しいものだけれど天王寺の舞楽は都にも勝る)と絶賛しています。

## ⑤ 清水寺

創建は不詳です。寛永17年(1640)に延海大阿闍梨が京都・清水寺を模して中興しました。ちゃんと「清水の舞台」があって、往時は大坂の街や大阪湾を見渡す眺望の地として多くの参拝者が訪れました。また、音羽の滝そっくりな大阪市内唯一の天然の滝「玉出の滝」もあります。



## ⑥ 金剛組

敏達7年(578)に四天王寺建立のために聖徳太子が百濟より招いた宮大工・金剛重光によって創業。推古15年(607)にはわが国が誇る木造建築の最高峰・法隆寺を築き、1400年以上の歴史を誇る、現存する世界最古の企業です。

## ⑦ 四天王寺・石の鳥居

国の重要文化財。永仁2年(1294)に造られた日本最古の石造の大鳥居です。春・秋の彼岸には石鳥居の中に夕陽が重なるように設計され、中日には夕陽を拝んで西方極楽浄土を観想する「日想観」が執り行われます。かつての四天王寺の西には海が広がり、石鳥居は「お釈迦さまが説法する極楽土へつながる東門」として庶民の信仰を集めました。

## 地下鉄四天王寺前夕陽ヶ丘駅

